

令和7年度岩手県流域下水道事業会計決算概要

【要旨】

- 本県の流域下水道事業は、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行。
- 経常収益は、市町村負担金の増などにより、前年度比9.3%増の92億2千万円余となり、経常費用は、処理場の運営等に要する委託料の増などにより、前年度比5.0%増の89億9百万円余となった。
- この結果、経常損益、純損益は、前年度比683.7%増の3億1千万円余の黒字となった。

1 令和7年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		9,220,320	8,432,478	787,842	9.3%
経常費用		8,909,546	8,485,724	423,822	5.0%
経常損益		310,774	△53,246	364,020	683.7%
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	0	0	—
純損益		310,774	△53,246	364,020	683.7%

2 経常収益の状況

市町村負担金の増(960,384千円)などにより、前年度比787,842千円増(9.3%)の9,220,320千円となった。

3 経常費用の状況

処理場の運営等に要する委託料の増(356,075千円)などにより、前年度比423,822千円増(5.0%)の8,909,546千円となった。

4 経常損益、純損益の状況

以上の結果、経常損益、純損益は、前年度比364,020千円増(683.7%)の310,774千円の黒字となった。

なお、経常損益の年度目標値(R7)に対する実績は次のとおりとなった。

区分	年度目標(R7)	実績	増減	備考
経常収支比率	100.0%	103.5%	3.5ポイント	年度目標を達成

5 汚水処理状況

令和6年度と比較し、流入汚水量は1.6%の増となり、70,728千m³を処理した。負担金収入は、前年度比22.9%増の、5,157,608千円となった。

なお、令和4年度から関連市町の負担方法を総括原価方式へ変更しており、実績処理水量による負担金収入の差額が生じない、安定的な収入が得られるようになっている。

区分	年度	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較		処理区域
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
流入汚水量 (千m ³ /年)		70,728	69,584	1,144	1.6%	
北上川上流流域 (千m ³ /年)		67,210	66,106	1,104	1.7%	盛岡市、滝沢市、雫石町、 矢巾町、花巻市、北上市、 奥州市及び金ケ崎町
磐井川流域 (千m ³ /年)		3,518	3,478	40	1.2%	一関市及び平泉町
市町村負担金収入 (千円)		5,157,608	4,197,224	960,384	22.9%	